

7 月 5 日 : VN 指数は小幅で続伸 (VN-Index +0.25%)

- VN 指数は前場取引中の停電の影響により、複数の証券会社がホーチミン証券取引所との接続が遮断されたことから、商いが少ない展開となった。
- 不動産、金融セクターがマーケットの重しとなったが、情報技術セクターがその下落幅を打ち消す上昇を見せた。
- 後場に入ると次第に買いが優勢となり、引けにかけて少しずつ上昇。最終的には前日終値を上回って大引けとなった。
- セクター別では、情報技術や旅行・レジャー、銀行セクターがけん引した。
- 182 銘柄が上昇、231 銘柄が下落、76 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 14.3%増加し、16 兆ドンとなった。

VN30 指数も市場平均を上回る (VN-30 +0.42%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、15 銘柄が上昇し、8 銘柄が下落、7 銘柄が変わらずとなった。
- FPT (+2.14%)、CTG (+1.24%)、VNM (+1.20%)が指数の上昇に寄与した。
- VRE (-2.12%)、SAB (-1.69%)、POW (-1.02%)は対照的に下落した。

セクター・個別株の動き

- ハノイ証券取引所が 2024 年第 2 四半期の株式売買ブローカレッジの市場シェア上位 10 社を発表した。VPS 証券、テクコム証券が上位 2 社であり、VND (+0.61%)、SSI (+1.02%)、MBS (+3.14%)がそれに続いた。
- PVD (0.00%)は自社製品である PV DRILLING III を使用したマレーシアでの作業において、これまでで最も深い 6970 メートルの採掘に成功した。
- 外国人投資家は 3710 億ドンの売り越し。FPT (+2.14%)、VRE (-2.12%)が大きな売り越しを記録した一方で、大きな買い越しを記録した銘柄は NLG (+2.33)のみであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。